

(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

- ① ⑦の付近の川原に立って、川原から対岸に進むにつれて、深さはどう変わっているか調べてみよう。
- ② ⑦の付近の川原の近くの流れと、対岸近くでの流れについて、木片などを流して比べてみよう。
- ③ 水中のぞき箱で、川底の砂が流されている様子を観察しよう。
- ④ ④, ②地点でのレキの大きさと川原の高さについて考えてみよう。  
高い④地点には大きなレキが多いのはどうしてだろう。
- ⑤ 流れの速さと川の深さ、川底の砂やレキの大きさ、川原や川岸のけずられ方との間にはどのような関係があるか、まとめてみよう。

(4) 川原のレキを調べる。

川原でのレキや砂のつもり方が平均的な所を選んで、1 m四方の方形枠を置く。

方形枠内に入っている、長径5 cm以上のレキをすべてビニルシート上に取り出す。(表面に見えるレキのみ)



① レキの大きさで分ける。

レキの大きさによって5~10cm, 10~15cm, 15cm以上に分け、その数を調べる。

② レキの形で分ける。

レキの形でまるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。

③ 川原のレキの多くは凝灰岩で、他に花こう岩や流紋岩も見られます。このことから、川の上流の山地は火山活動でできたものと推定されます。

④ 調べた結果を表にまとめる。

大 き さ (cm)			形			種 類			
5~10	10~15	15以上	円	垂 円	角	花こう岩	凝灰岩	角 礫 凝灰岩	流紋岩
16	3	6	4	10	11	8	7	7	3
64%	12%	24%	16%	40%	44%				